

8. センサーライトの取付方法

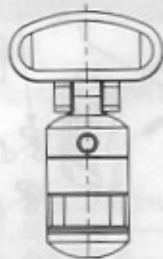
※注意) ☆センサーライトの取り付けにあたっては、極力センサーライト本体の中心軸が鉛直方向になるようにご注意ください。中心軸の傾きが大きいと、モーターの寿命が短くなります。

☆センサーライトは、必ずライト部が上になるように取り付けてください。

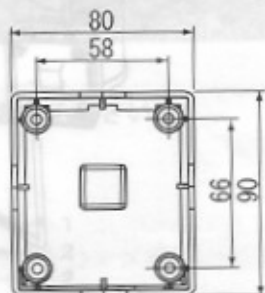
☆電源ケーブルはスリーブ等を用いて、必ず保護をしてください。

☆首固定テープは、センサーライト取り付け作業終了後にはがしてください。

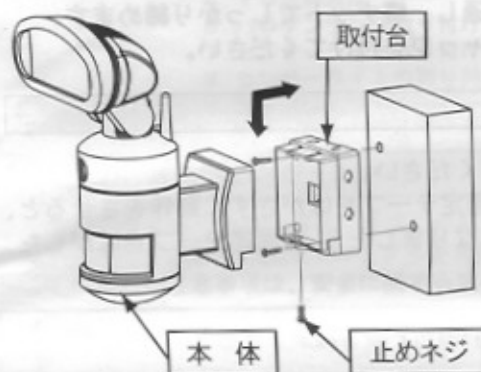
☆センサーライト取り付け作業終了後、壁や柱にセンサーライトが確実に取り付けられているか良くご確認ください。



取付台寸法図



●壁取り付けの場合



木造壁の場合は、柱などの下地のある場所を下地チェッカー等で確認の上取り付けしてください。

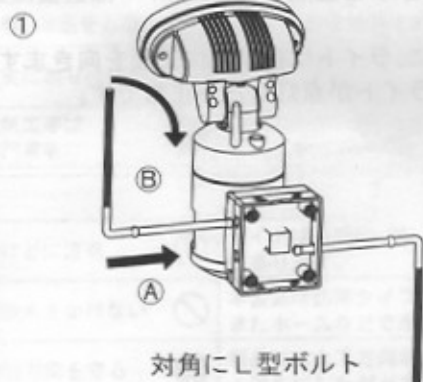
1. 取付台底部の止めネジをはずし、センサーライト本体から取付台をはずします。
2. 取付台の4つの壁取付用ネジ穴のうち、対角の2つのネジ穴をねじ止めしてください。壁の下地がコンクリート、ブロック、レンガ等の場合、ドリルでΦ6×35mmの下穴を開けて付属のコンクリート用プラグを打ち込み、プラグと壁の表面を合わせた後でネジ止めしてください。壁取り付け時の穴には、シリコン等を用いて必ず防水処理を行ってください。
3. センサーライト本体を取付台にセットし、止めネジで固定してください。

●柱、円柱取り付けの場合

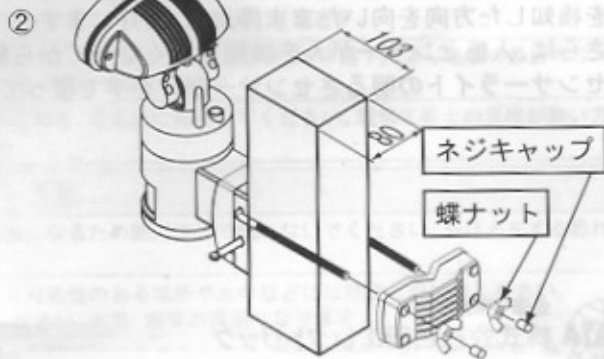
取り付けられる柱のサイズは、円柱で最小Φ20、最大Φ80まで、角柱で最大80×103mmまでです。取り付けられる柱がセンサーライトの重量に耐えられる事を確認してから取り付けを行ってください。

1. L型ボルトのネジキャップをはずします。(ネジキャップは使いますので捨てないでください)。
2. 以下に示す図にしたがって、取付台を柱に固定してください。

＝縦向きの柱、円柱の場合＝



対角にL型ボルト



・L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み
Bの向きに倒します。

・L型ボルトを柱、円柱の間でクランプ台を対角の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。
ネジキャップを付けてください。